



# 未来に届ける「個」の声を



①地域別懇談会のワークショップの様子。②グループで話した内容を発表。③和やかな雰囲気で行われたワークショップ④思いついた意見はすぐに付箋に書いていきます。

ちづくりの目標として活用し、その役割を果たしてきました。マスタープランは、これから20年後のまちづくりの将来ビジョンをわかりやすく描き、その実現に向けた方策を明らかにしたもので、町がめざしていくまちづくりの方向性を示す重要な目標となります。

**マスタープランに欠かせない「住民の声」**

現在、町は来年4月から始まる新たな都市計画マスタープランの策定に取り組んでいます。そこには、町で暮らす「住民の皆さんの声」が欠かせません。年齢、性別、居住地域、職業など、その人の置かれている状

**都市計画はなぜ必要?**

例えば、碁盤の目状の京都の街並み。もしそこに、「大型商業施設をつくりたい」、「電車やバスを通したい」と、それぞれが自由に何のルールも無いまま好き勝手にまちづくりを進めていたら、景観は乱れ、まちは雑然とし、みんなが生活しづらい都市になっていたかもしれません。都市計画というルールのもと、計画に沿って、長い時間をかけてまちづくりをしていくことが大切です。



## 20年後の町に向けて ミライノケイカク

まちづくりの方向性を示す「都市計画マスタープラン」。策定に不可欠な「住民の皆さんの声」を集約する地域別懇談会に迫ります。

況によって声は異なりますが、一人ひとりの「個」の声が住みよいまちづくりのヒントになることは間違いありません。

**地域別懇談会**

「『個』の声」を集約するため、町を5つの地域に分けて5月に1回目の「地域別懇談会」を開催しました。

グループに分かれ、ワークショップ方式で行われた意見交換。公共交通の充実や道路整備などインフラに関する、高齢化や行政区・自治会への加入者減少などが課題にありました。課題ばかりでなく、自然の豊かさや強固な地盤、伝統芸能やホテルなど、町の魅力について

も意見は飛び交い、自分の暮らす地域の20年後を想像して、参加者は思い思いに町の未来を語り合いました。

**子にも孫にも私にも**

「都市計画は100年の計」と言われます。今、声に出したことが、何十年も先になってようやく実現されることもあるかもしれません。しかし、住みよいまちづくりへのアイデアは着実に蓄積されていきます。

7月に2回目の地域別懇談会が行われます。心地よい暮らしを子にも孫にも私にも——。未来のまちをつくるために、あなたの「個」の声を届けに足を運んでみませんか。

**都市計画マスタープラン**

三芳町では、平成13年3月に「都市計画マスタープラン」が策定され、実際に区画整理や学校の耐震工事が行われるなど、ま

**武** 蔵野の雑木林を残す自然豊かな緑地公園。ベビーカーや車いすを利用する人が安心して通れるみらい通りの歩道。これらは住民の皆さんと一緒に考えたまちづくりのビジョンを基に都市計画を進め、完成したものです。

都市計画とは、みんなが安心・安全で快適に暮らすことができる都市づくりの計画のこと。道路、公園の整備計画や建物の建て方、土地利用の方法などのルールが決まられています。



**懇談会で自分事に!**

懇談会に出て、自分のまちのことをもっと考えなきゃいけないと思うようになりました。小さなことでも声に出して、まちづくりに関わることが大切です。ぜひ懇談会に参加してみてください。

**地域別懇談会に参加**  
**久保 達人さん**

**都市計画マスタープラン第2回地域別懇談会**

日時	対象地域	場所
7/11 (木)	竹間沢1区、みよし台1区	竹間沢公民館ホール
7/16 (火)	藤久保2・3・5・6区	藤久保公民館ホール
7/17 (水)	藤久保1・4区	藤久保公民館ホール
7/23 (火)	上富1・2・3区	中央公民館ホール
7/24 (水)	北永井1・2・3区	中央公民館ホール

■ 時間：19:00～21:00 〓 都市計画課 (内線 235)

